

# Products Review



## 顧客情報入力支援コンポーネント

# DB Entry .NET Framework 2.0

田辺 恒雄 TANABE, Tsuneo

### はじめに

皆さんは、消防車や救急車を呼ぶために、電話で119番通報をした経験はあるでしょうか。たいていの消防本部では、固定電話（携帯でない電話）からの119番通報を受信すると、通報者がまだ何も言わないうちに、通報に使用されている電話の加入者情報を取得しています。つまり、いたずら電話をしたら、電話がつかまった時点でどこから発信しているのかばれていたのです。このNTTの発信地情報表示システムは、もう20年以上前から運用されています。

発信地情報表示システムは、電子交換機からかかってきた電話のID（電話番号）を取得して、NTTのデータベースに問い合わせ、加入者情報を取得する、という仕組みになっています。運

用開始当初はまだ、交換機の半分以上はクロスバー交換機で、このシステムの対象外でした。その空白を埋めるために、某民間企業が提供していた電話番号の電子データの利用が検討されていました。その当時、電話番号の電子データを利用するには、相当高額な契約料が必要でした。

ところが最近では、発信地情報表示システムの適用外である携帯電話やIP電話による通報が増えています。現在、これらの新たな電話による通報に対して、その発信地情報を取得するための技術的な取り組みが進められています。

さて、いきなり電話情報システムの話から始めましたが、今回は、電子化された電話帳データと検索エンジンのコンポーネントがパッケージになった「DB Entry」を紹介します。

DB Entryは、電話番号を入力することによって、企業名や個人名、住所／所在地を検索し、顧客情報などのデータ入力を補助するアプリケーションを開発するためのコンポーネントです。ActiveX版、.NET Framework 1.0/1.1版、.NET Framework 2.0版の3つがありますが、ここでは.NET Framework 2.0版の「DB Entry .NET Framework 2.0」

### Software Information

OS  
Windows 2000/XP  
Windows Server 2003

開発環境  
Visual Studio 2005

対応言語  
Visual Basic  
Visual C#  
Visual C++

実行環境  
.NET Framework 2.0

価格  
オープン価格

#### 問合せ先

株式会社システム・ビット

TEL : 03-3985-8862

FAX : 03-3985-9268

URL : <http://www.systembit.co.jp/>

MAIL : [product@systembit.co.jp](mailto:product@systembit.co.jp)

(以下DB Entry)を取り上げます。

さっそく、その具体的な機能についてみていきましょう。

### DB Entryでできること

DB Entryのパッケージは、コンポーネントを含むインストールディスクと、約3,500万件の電話番号データが格納された辞書ディスクという、2枚のCD-ROMから構成されています。

コンポーネントには、「電話番号検索エンジン」と「市外市内局番／郵便番号検索エンジン」の2種類があります。それぞれの機能は、次のとおりです。

#### ■電話番号検索エンジン

市外局番を含む完全な電話番号をキーにして、電話番号辞書を検索し、個人／法人名、住所／所在地情報、郵便

言語 >>> Language

■ Visual Basic

ツール >>> Tool

■ Visual Studio Tools  
for the Microsoft Office System  
■ Office Professional Edition 2003

図1：DB Entry環境設定プログラム



番号などを取得します。

## ■市外市内局番／郵便番号検索エンジン

以下の3つの機能を提供します。

- ①電話番号辞書に含まれない電話番号、または電話番号の一部をキーにして、市外市内局番／郵便番号辞書から所在地情報を取得する。
- ②郵便番号をキーにして、住所データを検索する。
- ③都道府県コード、または市町村コードをキーにして、所在地情報(名称と読み)を取得する。

電話番号辞書には、NTTの電話帳に記載されているデータが格納されています。当然NTTの電話帳に記載されていないものは出てきません。そういった電話番号データでも利用できるようにするために市外市内局番／郵便番号検索が用意されています。

また、DB Entryは、電話番号から電話の使用者情報を検索することを目的としており、名称から電話番号を検索する機能については、オプション検索機能として年内に製品化予定とのことです(ActiveX版は個別に一部提供中)。

なお、使用する辞書の容量は約700

表1：DB Entryのプログラムインターフェイス

コンポーネント	メソッド	機能
郵便番号検索エンジン	Open	電話番号辞書をオープンする
	Close	電話番号辞書をクローズする
	FindTelNo2	電話番号を元に電話番号辞書を検索する
	GetInfo2	FindTelNo2で検索した結果を取得する
	FindKen	県コード、県名を取得する準備をする
	GetInfoKen	県コード、県名を取得する
	FindCity	県コードを元に市区町村コード、市区町村名を検索する
市外市内局番／郵便番号検索エンジン	GetInfoCity	市区町村コード、市区町村名を取得する
	Open	市外市内局番／郵便番号辞書をオープンする
	Close	市外市内局番／郵便番号辞書をクローズする
	FindKen	電話番号を元に市外市内局番データ(県データ)を検索する
	KenGetInfo	FindKenで検索した結果を取得する
	FindCity	電話番号、県コードを元に市区町村コード、市区町村名を検索する
	CityGetInfo	FindCityで検索した結果を取得する
	FindTown	電話番号、市区町村コードを元に町域の検索する
	TownGetInfo	FindTownで検索した結果を取得する
	FindArea	電話番号、町名を元に区域(ビルなど)を検索する
	AreaGetInfo	FindAreaで検索した結果を取得する
	FindAddr	郵便番号を元に住所データを検索する
	AddrGetInfo2	FindAddrで検索した結果を取得する
	FindJISKen	県コードを元に県名(漢字)、県名(カナ)を取得する
	FindJISCity	県コード、または市区町村コードを元に市区町村を検索する
JisCityGetInfo	FindJISCityで検索した結果を取得する	
CommonAddrGetInfo	検索結果に共通した住所を取得する	

MBとなっており、ハードディスクに格納して使用することができます。

## DB EntryでOfficeアプリケーションを作る

それでは、実際にDB Entryを使ってプログラミングをしてみましょう。

最初に、DB Entryを使うために、利用環境を設定する必要があります。付属するDB Entry環境設定プログラムで、ライセンス情報と辞書に関する情報を登録します(図1)。

すでに紹介したとおり、本製品の基本構成は、電話番号辞書と、それを検索するためのコンポーネントです。機能はいたってシンプルで、コンポーネントのプログラムインターフェイスを全部列挙しても、表1に収まります。

## ■サンプルアプリケーションの仕様

今回は、Visual Studio Tools for the Microsoft Office System(以下VSTO)で、Officeアプリケーションを作ってみます。VSTOは、Visual Studioを使用